

平成30年1月24日

各 位

株式会社 北陸銀行

環境省の「環境配慮型融資促進利子補給制度」に係る 富山スガキ株式会社向け立山工場建設等資金に対する シンジケートローンの組成について

北陸銀行（頭取 庵 栄伸）は、富山スガキ株式会社（代表取締役社長 須垣 貴雄）に対する総額13億円のシンジケートローン契約において、主幹事を務めましたので、その概要をお知らせします。

本契約では、環境省の「環境配慮型融資促進利子補給制度」（※1）に対応した立山工場建設及び設備機器導入投資に係るシンジケートローンとして、当行が単独主幹事となり、アレンジャー（案件組成）業務およびエージェント（参加金融機関の代理人として契約事務）業務を行うものです。

富山スガキ株式会社は、1877年（明治10年）に創業したスガキ紙店を始まりとして、1926年（大正15年）に印刷業を開業して以来、印刷物のデザイン、印刷、加工を扱う総合印刷メーカーとしての実績を築き、また、豊かな郷土の環境保全に貢献すべく、事業活動を通じて環境負荷の低減に取り組んでおられます。

今般、印刷需要の増加に対応するため、生産規模拡大を目的とした立山工場建設に際し、当社が当行独自の環境評価格付「エコリード・マスター」（※2）における最高ランク「S」を取得のうえ、公益財団法人 日本環境協会に対し『二酸化炭素排出原単位を3年以内に3%以上改善する』との誓約を行い、かつ遵守することにより利子補給金の交付を受ける予定です。

当行では、今後とも、環境経営を実践される地域のお取引先の資金調達ニーズに、的確かつ迅速にお応えしてまいります。

記

(1) 契約先概要	富山スガキ株式会社（代表取締役社長 須垣 貴雄） （本社工場：富山県富山市塚原 23 番 1 号）
(2) 契約内容	タームローン
(3) 資金使途	立山工場新設における建屋工事及び設備機器導入 （所在地：富山県中新川郡立山町塚越 234 番地 2）
(4) 主幹事	北陸銀行
(5) 参加金融機関	北陸銀行、商工組合中央金庫、みずほ銀行
(6) 契約日	平成 30 年 1 月 18 日（水）
(7) CO ₂ 排出量 削減目標	「原単位当たり CO ₂ 排出量」を 3 年間で基準年度比 3%以上削減
(8) 環境格付結果	環境評価「エコリード・マスター」：最高ランク「S」

<本件に関するお問い合わせ先>

北陸銀行 金融サービス部 コンサルティング推進グループ

TEL (076) 423-7502

<ご参考>

- (※1) 「環境配慮型融資促進利子補給制度」とは、環境省が公益財団法人 日本環境協会を通じて実施する「平成29年度環境配慮型融資促進利子補給事業」に基づく制度で、環境格付の取得や二酸化炭素排出量等の削減目標を誓約し、誓約を遵守するなどの条件を満たした場合に、公益財団法人 日本環境協会から金融機関に対し利子補給を受けることができます。
- (※2) 環境格付「エコリード・マスター」とは、北陸銀行が株式会社日本政策投資銀行との提携により作成した環境評価シートにより、企業の環境配慮型経営の取り組みを評価するものです。環境評価シートに定める評点により融資先の環境配慮への取り組みを評価し、得点率によって格付を付与します。

格付	格付評価	得点率
S	先進的	80%以上
A	十分	60%以上 80未満
B	普通	40%以上 60%未満
C	不十分	40%未満

今回、当行が実施した環境評価では、富山スガキ株式会社に対し関連資料を取受のうえ全85項目に対してのヒアリングを行った結果、以下のポイントを評価し、最高ランク格付「S」を付与しました。

- (1) 当社独自に「環境活動レポート」を策定され、環境負荷軽減への取り組み方針や、具体的な削減目標等を対外的に開示されている点。
- (2) 新たな設備投資で省エネ性能機器の検討や既存の本社工場等のLED照明対応等、省エネへの取り組みを実践されている点。
- (3) 製造・リサイクル・廃棄において、化学物質の使用量削減に取り組まれておられる点。

以上